前週例会（11月20日）レポート

会長報告

○今日は移動例会で皆さんに「銀波亭」へお越しいただいております。同時に卓話として会員選考委員会から古市君にお願いしています。テーマは『鴨場について』ですが、食べる鴨とか、どういう風に捕っていたか等をお話しいただけます。前回も職業奉仕で古市君にお世話になりましたが、今回もということで今月は古市君の当たり月のようです。

○世間では選挙に突入という事で、皆さんますます忙しくなるであろうとは思います。日本の政治は本当に大切だし、とても重要なことではあります。
ロータリーの奉仕の精神を持って政治を行っていただければ、そんなに揉める事はなく皆が幸せになれるのかなと思っているのは私だけでしょうか。
これから忙しい師走を迎えるわけですが、なにとぞ健康には留意していただき、今日の例会を楽しんでいただければと思います。

幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

月　日	曜	クラブ名	例会場	→	月　日	曜	場　所	時間
11／22	木	高松グリーンRC	オークラホテル高松	→	11／23	金	讃岐学園	9：00～16：00
11／27	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	11／27	火	時間変更	18：30
12／12	水	高松南RC	JRホテルクレメント高松	→	12／12	水	時間変更	18：30
12／18	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	12／18	火	時間変更	18：30
1／15	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	1／15	火	時間変更	18：30

移動例会「銀波亭」

○卓話「鴨場について」　職業奉仕委員会　委員長　古市哲也君

今日は銀波亭にはるばるお越しいただきましてありがとうございます。

鴨場についてお話をさせていただきますが、皆さん栗林公園に鴨場があったという事はご存知でしたか。鴨場の猟は江戸時代の大名達によって行われていたので、明治になるとほとんど姿を消しました。現在鴨引き塀の残されている鴨場は全国でも５か所となりそれだけに貴重な文化遺産という事が言えます。栗林公園は高松藩主松平家の下屋敷であり、回遊式大名庭園を代表する庭園で広大な園内には鴨猟を楽しむ為の鴨場が設けられていました。明治になってからは江戸時代の文化遺産は様々な形で受け継がれ、姿を消しつつありましたが昭和63年に昔ながらの鴨場を復元することが決まり、今となっては栗林公園の鴨引き塀は幅、長さ共に日本最大の規模でもありその点でも貴重なものと言えます。

現存する鴨場で今も捕獲が行われているのは宮内庁の埼玉鴨場、新浜鴨場の２か所だけです。今では捕獲した鴨はすべて足環をつけ、種類や体の大きさ等を記録してから放鳥し鴨の生態系や分布を知るための研究に役立てられています。

銀波亭はなぜ鴨料理のお店にしたのか、という事をよく質問されます。讃岐はため池が多いのと、昔から鴨場があったという事でちょっとコジツケタところはありますが、鴨料理を提供させていただいております。昔の文献などを調べていますが、江戸時代のお殿様が鴨料理を食べていた資料が見つかればそれらの料理を復元し、皆様にもご賞味していただければと思っております。






誰に話してもすべらない雑学 ▶▶▶ 七味唐辛子のレシピは決まっていない？

そばやうどん、焼き鳥の風味づけに欠かせない七味唐辛子は、江戸発祥のスパイス。江戸時代初期の1625年、江戸の薬研堀で生まれた。当時、その周辺には薬問屋が集中していたため、やげん堀の七味唐辛子は、漢方薬にヒントを得てつくられたという。それが江戸中で評判になり、全国に広がったが、この過程で七味唐辛子の中身は変化した。その土地の気候や食文化によって、ブレンドは変わるものの、七味という名前だけに、七種類のスパイスが入っている点は共通している。

高松東ロータリークラブ　会長　新谷　哲夫　　幹事　上野　明